

1. 会 合	株式等の決済期間の短縮化（T+2化）／現物清算システムの リプレイスに係る休日テスト説明会
2. 日 時	①2018年10月9日（火） 10：00～11：30 東京 ②2018年10月11日（木） 10：00～11：30 東京 ③2018年10月11日（木） 14：00～15：30 東京 ④2018年10月12日（金） 14：00～15：30 大阪
3. 質疑応答	<p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の担保管理業務等はWindows7でも利用できるが、なぜ新現物清算システムのみWindows10しか認められないのか。 <p>⇒ システムリプレイスの観点上、既存で提供しているサービスはWindows7を動作保証対象としているが、新規のサービスについてはサポート期間の限られるWindows7を動作保障対象から外すこととした。従って、同じ端末で新現物清算システムと既存サービスである担保管理業務等を行う場合は、Windows10にさせていただく必要がある。（事務局）</p> <p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の資料（SS向け）の英訳版は入手できるか。 <p>⇒ 10月15日の週初を目処に各資料の英訳版もTarget-JSCCサイトに掲載予定である。なお、休日テストの申込書等の様式については日本語版のみとなるのでご留意いただきたい。（事務局）</p> <p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テストの観点でフェイルの確認項目があるが、何か準備する必要があるのか。 <p>⇒ フェイルの発生有無は、テスト当日のDVP決済の進捗状況・結果によって異なる。保振システムにおいて十分な残高を設定する想定ではあるが、渡方一時停止を付したまま決済時限を迎えた場合にはフェイルが発生しうるが、そうでない場合にはテスト日においてフェイルが全く発生しない可能性もある点をご留意頂きたい。（事務局）</p> <p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テストのデータは、過去の本番約定データに対してシステム運用日付を修正したものを用いるとのことだが、各テスト日において、どの日の本番約定データを用いるのかは、どこを見れば分かるか。

⇒ 休日テスト（業務確認テスト／総合運転試験（RT））に関する実施手順書＜全体編＞の13ページ目以降に記載している。（事務局）

（参加者）

・ 各社ともテスト結果の判断については、CS 絡みの観点等もあると思うが、別紙チェックリストの「確認結果」欄がOKとなるだけでよいのか。

⇒ 「確認結果」欄がOKとなれば、新しい現物清算システムにおけるJSCCと清算参加者間の確認項目はいずれも問題ないとの理解でよいが、その他貴社内の後続業務やCS等の観点における懸念点がある場合は、結果報告書へ記載欄を設ける予定であるので記載いただければと思う。（事務局）

（参加者）

・ 稼動リハーサル結果がNGかどうか判明するタイミングは2019年7月14日（日）の夕方とあるが、具体的には何時ごろなのか。また、2019年7月14日（日）の夕方より前に判明することはないのか。

⇒ 具体的なNG判定時刻については後日公表予定であるが、2019年7月14日（日）の夕方より前にNG判定を公表する予定はない。（事務局）

（参加者）

・ 現物清算システムにSSO/ポータル経由でしか入れなくなるのは、T+2化以降という認識でよいか。

⇒ T+2化以降であるが、現在、SSO/ポータル経由でログインしていない場合は、早めにログインできるよう端末の事前設定等の準備をお願いしたい。（事務局）

（参加者）

・ CSにおける前日振替請求データは、いつどのタイミングで入れればよいか。

⇒ 本番同様、決済日前日にファイル伝送もしくは統合Web経由でお送り頂ければよい。具体的な時間帯については、別紙「休日テストのタイムスケジュール」にてご確認いただきたい。（事務局）

以 上